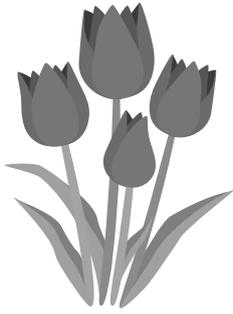


処せず、官民挙げて総合的に捉える地方創生戦略チームが必要と思うが、いかがか？



情報提供については、施策を総合戦略に当てはめた形で住民の皆さまにお示しい。担当課と協議の上、広報への掲載などを検討したい。村には産業振興会議をはじめ、行政や民間おりまぜた会議体がある。様々な分野別の会議で検討されたことを、必要に応じて他の分野にも情報提供・共有できる仕組みが必要。その上で地方創生戦略チームが必要と判断されれば検討したい。



## 議員の2月 月間リレー日記

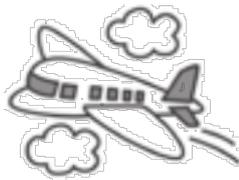
### ●木村諭史

1日(水)

議会事務局に『漁業の理論と実際』(書名)を取りに行く。よく温泉でお会いする方の献本。

2日(木)

多世代交流事業に参加。飛行機最終便で上京する。



3日(金)

秋葉原で廃小学校をアート及び交流拠点に改修した『アーツ千代田3333』を見学。カフェ、イベント展示スペース、ギャラリ、研究室にシェアオフィス

である。

4日(土)

千葉大学にて社会向け『都市環境情報演習』最終講義を5時間。ロボットを作れるレゴブロックと簡単にプログラムできるソフトが組み合わさったマインドストームEV3のキットを使用する。

5日(日)

飛行機で帰島直前、神戸津島に赴任した七信の支店長と話す。昼過ぎに出社し、翌日からの来客の試験の準備。

6日(月)

新潟より3日間の日程で3名の来客。会社の研究施設で立ち会いのもと委託試験を行う。

7日(火)

前日に同じ。

### ●前田卓秀

8日(水)~14日(火)

平均的な日常を記す。朝8時頃に羽伏浦に行き、SNSを使い波情報発信。これはほぼ毎日、実践。

17日(金)

へ。同輩の葬儀に出席。住民からゴミ集積場の増設の依頼があり、実態把握のための写真撮影。10力所ほど回るが、足りている模様。

18日(土)

活動紙のパソコン打ち。中々はかどらない。

19日(日)

読書「無私の日本人」と「それでも、日本人は「戦争」を選んだ」。

20日(月)

議事の録音を起こし活動紙のパソコン打ち。

21日(火)

午前中は庭の草取りや鉢の手入れなどのルーティンワーク。午後は昨日に続きパソコン打ち。

16日(木)

代船の2便で式根島

### ●山本均

15日(水)

パソコンを開いて政治資金収支報告書の作成の。午後3時から社協のボランティア。



●前田邦弘

22日(水)

9時から役場会議室にて出納監査。その後、議長室で三宅会の打ち合わせ。

23日(木)

午前中、先日の村長との話し合いの件で数人の漁師と打ち合わせ。

24日(金)

最近、若郷下水処理施設が臭いが出ると聞き、現状視察。

25日(土)

親戚に不幸があり、手伝い。

26日(日)

昨日に同じ。

27日(月)

午前中、議長と議長室で打ち合わせ。

28日(火)

午前中、議会運営委員会に出席。



## 議長の目<sup>アイ</sup>ランド



2011年から3月11日に発生した東日本大震災で福島第1原子力発電所の事故から6年が過ぎたが、原発の近隣地域においては帰宅困難な所が未だに相当数ある。又、「避難解除されても元の場所に帰るのか」とのアンケートでは、「帰る」と答えた人は60歳以上の高齢者が殆どで、若い人たちは子供の将来の事や、避難先で生活基盤が出来ている等の理由で帰らない、帰りたくないという意見が多かったと報道していました。

今まで日々平穏な生活を営んでいたのが一変して、永年住み慣れた我が家を後に避難しなければならない状況になった時の胸中は、いかばかりか計り知れない気持ちになります。

日本には54基の原発があるそうだが、万が一九州地方や西日本で同じように原発事故が起きたらと思うとゾッとする。

人間が作る者で絶対安心安全だという物は無いと思う。何故なら一旦自然が牙を剥けば為す術がないからです。過去に世界でも大きな原発事故が起きている。

1979年 アメリカのスリーマイル島原発事故 レベル5

1986年 旧ソビエト連邦のチェルノブイリ原発事故 レベル7

この他にも小さな事故から中程度の事故は枚挙にいとまがないほど起きている。

国際原子力機関が定める事象評価尺度では次のようになっている。

レベル1～3 異常事象

レベル4～7 事故

レベル4 事業所外への大きなリスクを伴わない事故

レベル5 事業所外へのリスクを伴う事故

レベル6 大事故